



「隨心院と石楠花」



境内にある小野梅園↑

隨心院の梅は
「はねづの梅」といって有名
薄紅梅色を「はねづ色」といふ。



小野小町が朝晩この水で
化粧をしてとされる



絶世の美女にあらわれた沢山の
恋文を埋めた文場

弘済寺も廢寺善福寺として仲間
に入れていたといっている「南足柄・
六福寺めぐり」が始まっています。
弘済寺にも時々お参りに
こらえます。既に巡礼された方も、
まだの方にも朗報です。お寺主催
ながらではの企画が開催決定!!
な、なんとお坊さんが同行してくれる
バスツアーです。仏教や歴史に
ふれながら、楽しく巡礼しましょう!!



- 6月6日(水)
- 午前9時
- 大雄山線和田河原駅集合
- 福田寺→善福寺→天福寺→
アサヒリエ場→弘済寺→
廢寺善福寺→龍福寺→長福寺(昼食)
- 大雄山駅(午後2時頃解散)
- 参加費 1人 1500円
(昼食代込)

お申込みは5/20までに弘済寺(74-1717)まで

宛先

〒250-0132 南足柄市弘西寺131

玉野千枝

kosaimitsui@ybb.ne.jp

沢山のご応募お待ちしております。

アレコレの肉みそトミー

ラ版の感想を2名の方に
想いで住所氏名法
は抽選にて応募多數の場合
を5月末頃に送らせていただきます。

おいしさに 心をこめて お届けの
みづほ野

0120-185-044

* フラワーショップ よした
(73) 8787

わ母皮をそ出変たざ子
らへ山描水しわにんが今
はの曼荼羅を、つ海曼追回
いの想奈本尊悲飼てが茶善紹
もい羅し育い羅し介
のは寺とみした夢寺たす
で時ししそたのでへおる
。を名こ牛程知キ山
超付このなり母だすは
えけに皮く親ら正に
、ら因に死そがじ牛に
困れん両んで牛一皮亡
をたで界で牛には山き
超と、曼荼羅しま探ま建
えい、茶を牛を思
變う。牛羅う。しれしひ
かぎすり、フイ、リ、ンメ
1ら。力、ナリ

ネい現やシラとやジカ
1、在日ヨテ「いか」やバ
シ母日本ノルウテビ「1日
ヨヘ本でをフ想彼スジは
ンの、配い女とニ母
を感は母リアかがいアの
送謝日まのう「ク州日
」を頃日し教、七人で
て表のた会1908キの1905す
いす母起。年母母年
ますと苦これい月追が月の
ねし勞さがカ10悼亡9日
てを水ア1日1く日は
、ねまメネ、たなアア
カギスリ、フイ、リ、ンメ
1ら。力、ナリ

真言宗の本山

◎牛皮山
曼荼羅寺隨心院

◎京都市山科区小野御靈町

◎真言宗善通寺派

◎本尊：如意輪觀音

◎創建：正暦2年（991年）

◎開基：仁海

派併年派治院曼上門と鎌山一僧に
総大し、真の時が茶し、
本本言本代再羅興寺、時名だ以が建され
山山隨宗山に興され、山に随され
と心善では、の年仁もたにとたに
は善院通し、真され、旧の呼めはな
り通は寺に言ます、跡慶古ば
ま寺善派が宗すに長のれ隨跡ます
ましは通と、小隨寺すが寺お世991
た同寺合193野明心一炎い院院。一のこの年

石楠花



弘済寺境内の石楠花

- 弘済寺に咲く石楠花は珍しい賞
のか？みんな足をとめて観ると
されていチます。調べてみると
花は「ルーズベルト」みたいですが
斑入りの葉は「花かがり」という
品種に似ているようです。
じなたかわかる方いらしゃい
ましたら教えて下さい。

大黒のお茶の時間ですよ



つもこいみしに食しを炭たで
まち思りたそたんべば使一裸にん
みろ、やのが歯にるら世に獅子風靡した
にんてまでたごく住くたたむじさん
し、いたまたが職遠にんにんじさん
キたい豚らえ丸を見くて、いい肉提
中華やスヌーピーの格好。
モよしりこ、簡いゴロバた味供して
う、ると、いいゴロバた味供して
アレコレの肉みそトミー
ラ版の感想を2名の方に
想いで住所氏名法
は抽選にて応募多數の場合
を5月末頃に送らせていただきます。